



# The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2016 / 2017)

- 国際会長 「我々の未来は、今日から始まる」  
アジア会長 「Y's運動を尊重しよう」  
西日本区理事 「Y's魂で、更なるY'sの活性化を！」  
中部部長 「出会い ふれあい 響きあい 前へ進もう」  
名古屋クラブ会長 「燃やそう∞生きるちからを！」

2016 ~ 2017 9月号 (No834)

## 9月例会プログラム

と き:2016年9月13日(火)6:30p.m. ~ 8:30p.m.

ところ:名古屋YMCA

- 司 会 相馬静香さん  
開会宣言 会 長 河部 薫君  
ワイズソング  
ゲスト紹介  
食前感謝 寺田 仁計君  
プログラム  
「江戸独楽の歴史・腹話術の歴史と実演」  
柳家三亀司氏  
諸報告  
ハッピーバースディ  
ドライバースピーチ 寺田 仁計君  
YMCA の歌  
閉会宣言 会 長 河部 薫君

## 民族の隔て取り去り 手をつなごう

木 本 精之助

中部部会が盛会裏に終了しました。計画の段階から終了まで、周到な準備と諸般の労を惜しまれなかった川口中部部長、河部クラブ会長以下の皆さんに感謝の拍手を贈ります。実り豊かな部会でした。

部会の3、4日前には日中韓三国外相会談が東京で開かれ、北朝鮮では潜水艦発射弾道ミサイル発射が報道されたばかりで東アジアの国際緊張状態は依然として好転の兆しを見出せない情勢下にあります。こうした時代背景のもと、「国際協力の意義」を部会の主題に掲げ、更に「前へ進もう」を強調されたことは意味深いことであります。

近年の重苦しい国際情勢を好転させる手立ての一つとして、NGOの役割に期待が寄せられることが屢々あります。その具体例として国際性をその団体の特色の一つとするYMCAが、近隣諸国のYMCAとの間に国際交流の実績を積み重ねていることが注目されています。とりわけワイズメンズクラブの国際協力活動が多年に亘り貴重な実績を積み重ねていることが特筆に値するものと評価されているのです。

例えば日韓両国のYMCAの友好関係には過去の政治的困難を信頼と友情により克服して深い交友を築き上げた経験が残されています。名古屋と聖岩(ソウル)両ワイズメンズクラブのIBC提携は1978年に始まり友好交流の実践は38年に及んでいます。両クラブのメンバー間に培われた深い敬意と信頼や友情は両国間の歴史認識の隔たりを埋めるという期待を抱かせるに十分な実践そのものと考えられます。

こうした国際交流の実践のなかで体得された、国籍や人種の違いを越えた、友人との揺るぎない好意と友情、敬意と信頼の拡がり世界平和への希望を確かなものとするを願って、さらに前進したいものです。

## 第 2 例 会

と き:2016年9月20日(火)7:00p.m. ~ 8:30p.m.

ところ:名古屋YMCA

プログラム:10月例会他

- 会 長 河部 薫 書 記 谷川 千賀  
副 会 長 渡辺 鈴木 会 計 塩田 川口  
プリテン 久保田 千賀 伊左治 川口

8月クラブ出席		B F		8月個人出席																	
在 籍	24名	切手	60pt	伊左治	○	塩 田	○	牧	○												
第1例会	12名	8月	現金	尾 関	○	鈴木(貞)	○	山 口	○												
メネット	3名			小 尾		鈴木(学)	M	義 井	○												
ゲスト・ピツター	1名		0pt	加 藤		千 賀	○	渡 辺	M												
第2例会	6名		60pt	川 口	M	相 馬	○														
メネット	0名	累計 (7~8月)	切手	川 本	M	谷 川	○														
メーキャップ	5名			河 部	◎	常 川	○														
出席率	91.7%		60pt	鬼 頭	M	寺 田	○														
メネット会	6名		現金	木 本	○	中 村	M														
ゲスト・ピツター	1名		0pt	久保田	◎	西 村	○														
			60pt																		

第一例会(8/7)(メネット)伊左治 小尾 西村  
(ゲスト)福川  
金沢YMCA70年(7/30)川口 中村  
国際大会(8/4~7)川口 川本 相馬 義井 加藤(邦)  
中部部会(8/28)(メ)尾関 川口 川本 河部 鬼頭  
木本 久保田 塩田 鈴木(貞) 鈴木(学) 千賀 相馬  
谷川 常川 寺田 中村 西村 牧 義井  
(メネット)尾関 久保田 西村 長井  
中部部会メネットアワー(8/28)(メネット)尾関 加藤(邦)  
久保田 西村 長井 深谷(メ)尾関 川口 谷川 西村  
(ゲスト)青木  
中西部部会(9/3)川口  
阪和部部会(9/4)川口 谷川 塩田 河部 鈴木(貞)

○第1 ○第2 ◎第1・第2 Mメーキャップ

### ■ ■ ■ 第 1 例会レポート ■ ■ ■

と き：2016年8月7日(日)  
ところ：葵ゆめ倶楽部

8月は納涼例会としてYMCAをはなれ河部会長宅の葵ゆめ倶楽部で行われました。生憎台北での国際大会への出席者の都合もありメン12名、メネット3名、ゲスト1名とやや淋しい感があったものの、尾関、木本両君より約50年前の

国際大会での友好のしるしとして外国のワイズメンと交流した記念品や当時の懐かしい思い出話を拝聴、楽しいひとときでした。また、テーブルの上を飾った豪華なおつまみ他、ご馳走は全部河部メネットが前日から用意された手作りであったとのこと。本当に美味しかったです。

ありがとうございました。

.....

### ■ ■ ■ 第 2 例会レポート ■ ■ ■

と き 2016年8月16日(火) 19:00~20:30  
ところ 名古屋YMCA

○中部部会の進行その他。詳細にわたっての準備各持ち場等の再確認を行う。最終の準備委員会は8月20日できめ細

かく検討する)

○9月例会9月13日(火)スピーカーの要請を河部会長に委ねる。

○クリスマス例会をどのような型でもっていくか?合同例会形式とするか?

.....

## 金沢YMCA創立70周年記念式典に参加して

7月30日(土曜)に金沢都ホテルで開催された金沢YMCA創立70周年記念式典に参加しました。名古屋地区からは八木メン(東海)、薦田メン(津)が参加し、また島田同盟総主事、中村名古屋YMCA総主事をはじめとして各地のYMCAから総主事が参加されました。山田公平氏アジア太平洋YMCA総主事の講演では金沢の地における今後のワイズ

の在り方が提言されました。金沢クラブ、金沢犀川クラブの皆様により金沢YMCAの活動が支えられていること、金沢の地にとけこんでいることを改めて認識しました。またこの記念式に若いリーダーがボランティアとして参加されており、金沢YMCAとワイズの将来を担う若い力が育ちつつあります。(川口 恵)

## 台湾国際大会に参加して

8月3日(水)~8月7日(日)まで台北で開催された国際大会に参加しました。初日は蒋介石総統の大きな銅像のある中正記念堂や龍山寺の見学。翌日4日から大会、京劇や雑技団のようなすばらしい演技を見ながらの懇親会。5日午前にはワイズとYMCAの在り方についての発表や東北大震

災や熊本地震に対して台湾からの多くの募金の贈呈なども。午後は十分瀑布見学、願いを書いた天燈上げ、九份の夜景観賞。6日午後からは大会のエクスカージョンで北投温泉へ。最終日には朝の礼拝では台北YMCAの聖歌隊とオーケストラによる素晴らしい音楽にきき、ユースコンボケーションの発表をきいて大会終了。

今回は、昨年京都でのアジア大会に台湾から多くのメンバーが参加されたお礼に日本から多くのメンバーが参加しようとのよびかけに賛同して参加しましたが、台湾のマーシャルの活躍と日本からの多くのメンバーの参加、同時通訳もあり、外国にいることを忘れてしまうくらいリラックスして大会と観光をエンジョイし、楽しい夏休みとなりました。皆さまありがとうございました。

名古屋クラブからは、川本メン、相馬メン、義井メン、加藤邦子特別メネットと川口の参加です。(川口 恵)



## 第一例会卓話紹介

江戸曲独楽・獅子舞／

腹話術・漫談・司会・リングアナウンサー

### 柳屋三亀司・よしおかつかさ氏

1953 年生まれ。

1978 年柳家小三松入門

1978 年柳家小三松に入門し、江戸曲独楽をはじめ芸を習得して大須演芸場を中心に活躍。

1986 年日本ボクシングコミッション中部事務局に所属しリングアナウンサーとなった。

2010 年落語家雷門獅箒他と共に「東海地方に演芸を広げ隊」結成。

2014 年大須大道町人祭に初参加した。

## 今月の聖句

『そこで、イエスは一同を呼び寄せて言われた。「あなた方も知っているように、異邦人の間では支配者たちが民を支配し、偉い人たちが権力を振るっている。しかし、あなたがたの間では、そうであってはならない。あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、一番上になりたい者は、皆の僕（シマ）になりなさい。』

マタイによる福音書 20 章 25 ～ 27 節

西 村 清

8月28日は、名古屋クラブがホストクラブとなり、中部部会を盛会に開くことができました。中部以外のメンバーも熊本を初め、50名あまりの方々に参加いただき、トータルでは125名の参加者でした。私たちのDBC紀ノ川クラブからも6人も参加いただきました。

中部部会を開くために川口恵部長は神経を使いながら、細かく配慮し、また中部書記の谷川修さんも部長を支えるべく、裏方に徹して、部会のいろいろな準備をし、また中部会計の川本龍資さんも断続的にある申し込みの登録者名簿を何度も作成しなおしながら、会計処理も行うという、それぞれ献身的な働きをしていただきました。また部会事務局長の千賀将

さんも目に見えないところでの働きをされていました。

さらに準備の初めから、川口部長を助けて、ホテルとの交渉、現場での会計処理等、裏方に徹した働きをしていただいた塩田保ワイズの働きを忘れることはできません。また当日の朝も名古屋メンバーは9時30分に会場のホテルに集り、当日の配布物や参加者へのお土産の袋詰め、ネームタックの整理とフル回転で働いておられる姿を見ながら、これは義務的な仕事ぶりではなく、お客様をこころからおもてなししようとする姿だと拝察していました。

しかも誰一人として偉くなるとか、上に立とうとかではなく、部長をたて、中部部会を成功裏のうちに参加者に満足して帰っていただきたいという思いから、全く「僕」のように働いているメンバーの姿を見ました。ギリシャ語原典の「僕」は「奴隷」という意味もあります。奴隷は主人の意図を理解しないで、言われた事だけを行います。しかしわがメンバーは自分で考え、不平、不満もなく、ただひたすら与えられた仕事をこなし、成功裏に中部部会を終了することが出来ました。中心になって準備していただいた方々には苦労が多かったと思いますが、その中に「さすががしい」ものを見る思いがしました。喜びを一層深くしています。

## 私の好きな言葉

「淡」

河 部 薫

「淡」と聞くとあっさりしている。かざりけがない。色や味わいなどがうすい。あわい。など一般的にはイメージしますが、老子思想では「淡」を「無味」と言います。

「甘味、鹹味（塩辛い）、渋味などのように限定される味を偏味といい、いずれも限定し得ないものを無味という。

無味とは決して味の無いことではなく、無の味、つまり偏味の無いことで、これを味の至極となす」安岡正篤氏  
「君子の交わりは淡として水の如し」

この言葉と出会って、「淡」が好きになりました。

相手を信頼し、大切に、関係に無理のない程の距離と接し方を保ち、長く友情を継続し、お互いの人生を見届けていける関係を築こうと思っています。

また、自分自身も偏味のない人間、甘い人、塩辛い人にならないよう心がけ、笑いたい時は笑い、泣きたい時は泣き、人からは「何とも言えない人だなあ」と言われるような人になれるよう、がんばります。

## 西日本区強調月間リスト 9月 Menettes

各クラブでメネット例会を企画し、国内プロジェクトへの理解を深めて下さい。ワイズは、家族で参加できるボランティア団体です。ファミリーでの活動をお呼びかけましょう

亀浦尚子メネット事業主任（熊本にし）



# Menettes of Nagoya Y's Men's Club

## 9月メネット会ごあんない

日時 9月24日(土曜日)午後2時~4時  
場所 千種キリスト教会 TEL052-711-0403  
(千種区汁谷町13-3)  
テーマ 「憲法の広場」with music  
青木有加弁護士(青木様の次男夫人)の憲法改正を  
考えるお話と畑田牧師夫妻によるリコーダーと  
ピアノを楽しむ集い  
集合 中央教会、午後1時。地下鉄名城線茶屋ヶ坂ま  
でご一緒にしましょう  
出席の方は、9月22日(木)迄に深谷(052-833-1047)  
へお電話下さい。

## 中部部会メネットアワー報告

とき 8月28日(日)11時~12時

川口恵中部部長のもと、はるばる熊本からメネット事業主任亀浦尚子様をお迎えして、40名を超える出席者に溢れ、感謝でした。

講演 小田哲也「えすぺらんさ」(スペイン語で愛と希望の意)代表(福岡中央Y's)の12年間にわたる活動について。

フリースクール箱崎自由学舎は、様々な事情で、不登校、中退、引きこもり、進学等で悩む子ども達の居場所として、彼らの個性と自主性を大切に、種々の実体験を通して、  
○子どもの自信を取り戻し、自分で考えて、自立へ導く  
○虐めによる人間不信、戸惑いの心をほぐす  
○学習意欲を起こさせ、認められる喜びを感じ復学、進学、社会人への道を拓く。

等々、子ども達の「異」を大切に、笑顔に溢れ、心のなかの元気な若者に育てたい。この働きは、今日の混沌極まる社会のなか、大人に課せられたミッションであり、YMCAの理念にも通じる活動であると、結ばれました。

名古屋メネット会からのささやかな手みやげ作りに、ご協力くださった「NPO 辛子種」の皆様に感謝申し上げます。  
(深谷朗子)

メネット

メン

9月5日 久保田 啓君  
13日 尾関 明君  
27日 伊左治正文君

IBF

切手

義井 裕子さん 60pt

## 圓山ホテル ワイズ国際大会

8月3日国際大会に出席するため台北に午後3時頃到着しました。開会式には、国旗、民族衣装も色鮮やかで綺麗でした。

2日目はそれぞれ部会に分かれて講義を受けました。

3日目は会場を花博会場に移動して各国の宴会で盛り上がりました。日本は全員で「花が咲く」を合唱しました。

4日目、4班に分かれ台北の見学会がありました。私は、国立故宮博物館へ行きました。歴史の有る焼き物が陳列してありました。

5日、飛行機の都合で閉会式には出席できず、7日午前帰国しました。お天気も晴天でした。

同行下さった義井メンはじめ皆様お世話になりました。  
ありがとうございました。  
(加藤邦子)

## 中部部会報告

去る8月28日、名古屋で第20回中部部会が開催されました。名古屋クラブの川口恵メンが中部部長となられて、「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」というテーマのもと、金沢から熊本まで総勢125名もの参加者が集い、あらためてワイズの進むべき道を再確認することができました。

基調講演は五月女光弘氏が「国際協力の意義」と題し、リトアニアで活躍された杉原千畝氏の話を変え、戦後日本がいかに国際社会から恩恵を受けてきたか、今アジアの国々から信頼されている日本がそれに報いるのが国際貢献であると、有意義な話をされました。

懇親会は有志によるハワイアンバンドの演奏やフラダンスもあり、文字通り和気藹々の楽しい部会でした。  
(義井裕子)

## 中部部会お礼

名古屋クラブの皆様、中部部会にホストクラブとしてのご協力ありがとうございました。お蔭さまで中部から、そして中部以外のクラブからも多くの方を迎えた中部部会は、無事終了しました。チラシ作りからはじまり、プログラム作り、名札づくり、横断幕作り、登録と入金、資料とお土産の袋詰め、駅へのお出迎え、受付、司会など多くのメンバーで担当して進めることができました。連絡主事の牧さんには打ち合わせのためにお休みのところ出勤していただき、プログラム編集、YMCAとホテルの間のクラブ旗、万国旗の移動など多くのご協力をいただきました。ありがとうございました。  
(川口 恵)